

# リサイクルを学ぶ連続講座

## 事業結果

リサイクルを学ぼう！

実践のためのリサイクル経済学

～資源循環の仕組みを学ぶ～

実施日：平成21年11月6日 13:30～15:30

会場：環境情報センター 学習室

参加者：44名

生産と消費の体系を動脈経済、消費後に発生するごみ処理や資源再利用の体系を静脈経済と呼ぶ独特のリサイクル学を展開している。以下の視点から講演を依頼。

マクロ視点から

- 1 資源のリサイクルはなぜ必要か
- 2 国内、内外の廃棄物の現状と課題
- 3 資源活用の国内～国際的流れ
- 4 リサイクルによる経済効果

ミクロ視点から

- 1 便利さと廃棄という文化
- 2 生産者と消費者の意識変遷
- 3 暮らしの中でのリサイクル文化は未来につながり
- 4 問題提起

質疑応答・最近のリサイクルをめぐる論争などの紹介

総じて、統計数値を駆使した内容の濃い講演であった。リサイクル資源の有価価値を狙いに東アジアに流出する現状から、国内でのリサイクル資源の流通に力を入れる必要があること。そのための法的整備が焦眉の課題であることなどが今後の着目点としてあげられた。



講師  
慶應義塾大学経済学部  
細田 衛士 教授



国際経済におけるリサイクル資源の循環・流通のしくみと法的整備の課題をテーマに講義。



聴衆者よりの質疑